



2026年 1月14日
第123号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第5号

「横浜線ワンマン運転について」に関する基本申し入れ (その1・運車)【全26項目】団体交渉を行う！⑨

24. 異常時において、NHK放送やウェザーニュース等をVIS画面で放映できるようVIS機能を改修すること。
【会社回答】現時点において、VIS機能を改修する計画はない。

組合	会社
南武線ワンマン運転の交渉でも議論したが、VIS機能の改修を求める。	特許等、製造会社との関係もあるので機能改修は難しい。
トレインニュースを活用、改良することはできないのか。	トレインニュースで天気予報は流しているが、リアルタイムの情報等を流すのは難しい。各駅に異常時ディスプレイがあるので、そういったところで情報提供を行っている。

25. 業務用タブレットのバッテリー切れを防ぐため、運転台に充電設備を設けること。具体的には、運転台下のコンセントを改良し、そこから延長コード等で行路カード置き台に電源コンセントを持ってくるようにすること。
【会社回答】運転台に充電設備を整備する計画である。

組合	会社
実際に充電設備が整備されている編成に乗務したが、回答を確認してよいか。	<u>鎌倉車両センターと調整し、順次全ての編成に整備していく。</u> 確認
運転台下にあるコンセントはどういった用途で設置されたものなのか。認識を示すこと。	確認しているわけではないが、充電用途ではなく清掃用のためと思われる。
新幹線の客室にあるコンセントにも「電圧が安定しない場合があります」と注意書きがされているが、 <u>運転台下のコンセントも電圧の変化、タブレット端末に影響を及ぼさないかどうかの確認は行っているのか示すこと。</u>	鎌倉車両センターと調整し、 <u>使用に耐えられると確認した上で充電設備を整備している。</u> 確認
タブレット置き台について、新しい端末ではイヤホンジャックが付いていない。今後、Wi-Fi や Bluetooth 等を活用してデータを飛ばして多言語放送が行えるように整備すること。	現時点で改造の有無については把握していないが、意見は承り関係箇所へ伝えていく。

26. ワンマン運転における教育・訓練は、社員の理解度を把握し、社員から要請がある場合はその都度対応すること。具体的には、ホームドア故障等に対する教育や人身事故および踏切事故等を想定した現車訓練を定期的実施すること。
【会社回答】ワンマン運転の実施に向けた各種取扱いについては、必要な教育・訓練を実施していく。

組合	会社
ホームドア訓練や人身事故訓練等については、引き続き指導訓練で行っていくという認識でよいか。	<u>その通りである。</u> <u>現車訓練含めて、引き続きやっていく。</u> 確認
ワンマン訓練について、勤務上やむを得ないこともあるが、ばらつきが出始めている。乗務員からの要請があった場合は柔軟に対応していただけないかという認識でよいか。	<u>不安があれば申告していただきたい。</u> 確認
訓練用シミュレーターについて、全区間ワンマン運転の訓練ができるように改修を行うのか示すこと。	<u>2回目の改修を行う予定である。</u> 確認
久里浜総合訓練センターについて、ワンマン運転線区が拡大している中で、ワンマン運転に対応した運転士向けの訓練はすでに実施されているという認識でよいか。ワンマン運転の訓練が行えるよう、現車等の改修を求める。	実際の訓練内容は把握していないが、今後ワンマン運転が増えるのであれば検討の一つ。関係箇所に意見は伝えていく。

全26項目議論終了！

今後は基本申し入れ(その2・営業)の申し入れを行い、特に課題となっている横浜駅と関内駅北行の乗降終了表示掲出について等の議論を予定しています。